



第4号

平成25年8月8日発行

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

災害復旧工事の進捗状況

東日本大震災に係る災害復旧工事の完了割合は、発注件数ベースで約89%、査定決定件数ベースで約91%となっています。【平成25年7月末日現在】

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、当事務所管内では、道路、橋梁及び河川の公共土木施設について163件の被害が発生しました。これらの復旧を効率的に進めるため、被害箇所を数件ずつまとめて56件（廃工1件）の復旧工事として発注し、平成25年7月末日で50件の工事が完了しています。残りの復旧工事については、年度内にすべて完了する予定です。

東日本大震災に係る公共土木施設災害復旧状況 (H25.7.31現在)

工種	災害査定		工事	
	決定件数(件)	決定額(千円)	発注件数(件)	完了件数
道路	115	1,472,499	(114)25	(113)24
橋梁	17	786,479	(17)7	(6)4
河川	31	1,052,750	(31)24	(29)22
合計	163	3,311,728	(162)56	(148)50

※ () 書きは決定件数ベース



主) 涌谷津山線【豊里大橋】(着手前) ↑
(完成) ↓



国道346号 (着手前) ↑
(完成) ↓



トピックス

1. 仙台・宮城DC登米ロードクリーン作戦を行いました（4月15日）

4月から6月まで仙台・宮城デスティネーションが開催されることに伴い、おもてなし活動として、ロードクリーン作戦を実施しました。

土木事務所・登米市・道路愛護会・スマイルサポーター・道路管理業者が参加し、地域協働で、みやぎの明治村である登米町へ向かう主要地方道築館登米線約3.2km、長沼フートピア公園前の主要地方道古川佐沼線約2kmの区間の、ゴミ拾い、除草、歩道の堆積土砂除去や道路付属物の清掃を行いました。



2. 土砂災害危険箇所の合同パトロールを実施しました（6月6日）

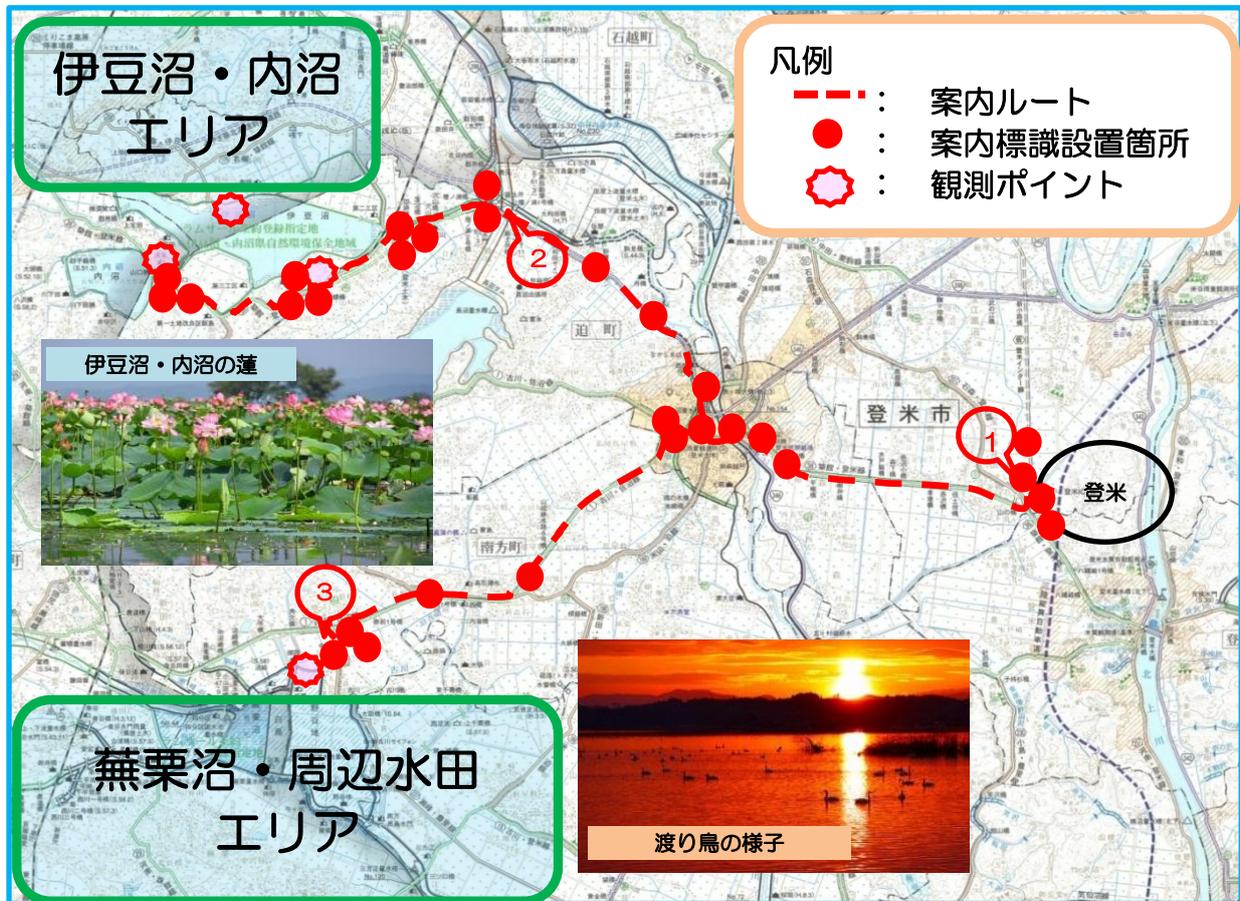
毎年6月は「土砂災害防止月間」として、住民の皆様にも土砂災害に関する防災知識の普及や、警戒避難体制整備の促進等を推進し、土砂災害による被害防止を目的として、様々な活動を実施しています。

当事務所では、登米市と連携して、市の広報誌での広報活動のほか、市内の土砂災害危険箇所のうち20箇所について、合同パトロールを実施し、付近の住民の方々に対して、土砂災害警戒情報への注意や、避難場所、避難経路の確認など、万一の土砂災害に備えるように説明を行いました。



3. 「『伊豆沼・内沼』と『蕪栗沼・周辺水田』へと向かう案内標識を設置しました

三陸縦貫自動車道の登米インターを下りてから、ラムサール条約登録湿地として、全国的に有名な『伊豆沼・内沼』と『蕪栗沼・周辺水田』へと向かう道のりに案内看板を設置しました。『伊豆沼・内沼』と『蕪栗沼・周辺水田』は、秋から春先にかけては、越冬のため飛来した雁や白鳥の群れが観察できる良好なポイントになっているほか、『伊豆沼・内沼』では、夏に湖沼一面に蓮の花が咲くなど一年を通じて自然と触れ合える場所となっています。登米地域にお越しの際は、是非一度、訪れてみてください。



(今回設置した各湖沼名を標した代表的な案内標識)



4. 「河川愛護月間パネル展」を開催しました（7月5日～7月15日）

7月は「河川愛護月間」であり、河川への親しみや愛着を持っていただくため、また、県と住民との河川に関わる共同事業に理解と関心を深めてもらうため、イオンタウン佐沼にてパネル展を開催しました。

迫川の改修の歴史や、長沼川の水質浄化活動を行っている「長沼川を考える会」の活動紹介、また、河川の美化活動をボランティアで行うスマイルサポーターの活動写真などを展示しました。



また、8月は道路ふれあい月間であることから、同じくイオンタウン佐沼にて「道路ふれあい月間パネル展」を開催しています。8月9日（金）から8月18日（日）まで、スマイルサポーターの活動写真や当所の道路事業のパネルを展示しています。ぜひこの機会に足をお運びください！！

事務所からのお知らせ①



道路や河川にゴミを捨てないで！



地域の皆様を始め、スマイルサポーターや愛護会の皆様には、日ごろ、道路や河川のゴミ拾いや除草をしていただいております。

土木事務所では、不法投棄を防止するために、職員が毎日パトロールしたり、看板を設置しておりますが、ペットボトル、吸い殻、古タイヤ、家電製品、家庭ゴミ等の不法投棄が後を絶ちません。道路や河川はみんなのものです。きれいに気持ちよく使っていただくためにゴミの不法投棄は絶対にやめましょう。

もし不法投棄を見つけたら、当所もしくは警察へご連絡願います。



電化製品の不法投棄



廃タイヤの投棄

主要事業紹介

〇みやぎ県北高速幹線道路[Ⅱ期区間(中田工区),Ⅲ期区間(佐沼工区)]

<事業概要>

みやぎ県北高速幹線道路は、県北地域を東西に結び地域高規格道路であり、栗原・登米・気仙沼等の各圏域間の連携を強化し、地域の活性化・産業振興を支援するとともに、広域的な支援や連携を強化する復興支援道路にも位置づけされている路線です。

このうち、三陸縦貫自動車道登米インターチェンジから登米市中田町石森までの4.7kmは、第Ⅱ期区間として、平成23年度に事業に着手しているほか、登米市中田町石森から迫町北方舟橋までの3.6kmは、第Ⅲ期区間として、登米市迫町佐沼の市街地をバイパスする計画としており、今年度から事業に着手しました。

<Ⅱ期区間(中田工区)の事業概要>

延長	L=4.7km
道路規格	第3種第2級
車線数	2車線
設計速度	60km/h
平成25年度の事業内容(予定)	用地買収, 盛土工事

<Ⅲ期区間(佐沼工区)の事業概要>

延長	L=3.6km
道路規格	第3種第2級
車線数	2車線
設計速度	60km/h
平成25年度の事業内容(予定)	路線測量, 道路詳細設計, 橋梁設計



シリーズ① ～湖沼めぐりと土木遺産～ <第1回>

宮城県には、大小様々な湖沼があります。

特に県北地域は、水鳥の生息地等として国際的に重要な湿地の保全のため制定されたラムサール条約の登録湿地となっている伊豆沼・内沼、蕪栗沼及び化女沼の3つの湖沼のほか、長沼や花山湖をはじめとするダム建設により誕生したダム湖が比較的狭い地域に集まっています。これらは、先人が残してくれた土木遺産でもあります。

「シリーズ～湖沼めぐりと土木遺産～」では登米地域管内にある湖沼と土木遺産を中心に、これらの見所を紹介していきたいと思います。今回は全国的にも有名な「伊豆沼・内沼」と「蕪栗沼」を紹介していきます。

伊豆沼・内沼は、仙北平野の中にある4平方キロメートルの低地湖沼です。雪が少なく冬でも凍結しないため、多くの水鳥に越冬する場所を提供しています。また、伊豆沼・内沼は、魚類・昆虫類など多種多様な生物が生息しています。水辺にはヨシやたくさん植物が自生し、夏には湖面いっぱいにハスが咲きます。これらの水鳥の生息地を保護するため、1985年にラムサール条約湿地にも登録されています。また、伊豆沼には荒川の遊水地として機能もあります。

(今年度の伊豆沼・内沼「はすまつり」は、7月の豪雨でハスが水没し花芽が傷んだため、延期となりました。)



例年の伊豆沼のハス



空から見た蕪栗沼 (2012.10月撮影)

蕪栗沼は、伊豆沼・内沼の南約8kmに位置する、面積約1.4平方キロメートルの遊水地としての治水機能をもった湿地です。

沼のほとんどがヨシやマコモに覆われた湿地で、周辺は沼を干拓した水田に囲まれ、冬にはマガンなどの越冬地となっています。渡り鳥の採食地になっている周囲水田とともに、2005年にラムサール条約湿地に登録されました。

蕪栗沼と化女沼のラムサール湿地は繋がっている？

迫川改修50年のあゆみ(S57.11月)によると、「萱刈川は、国道4号より上流の古川市長者原に源を発し、化女沼を過ぎ古川市内の耕地を流れ萱刈地内の潜穴を経て、瀬峰町に至り、蕪栗川に注いでいる」と記されています。

付近一帯は、かつて沼地でしたが、伊達藩の時代に新田開発政策として干拓して水田が造成された際に

用排水のため、数キロメートルにもわたる水路が築造されたものです。これらの水路や隧道は、老朽化や地震による崩壊による被害を受けながらも、幾度かの補修を受け、現在も地域の営農に利用されています。



事務所からのお知らせ②

○ 長沼ダムの試験湛水（しけんたんすい）について

長沼ダム建設事業はいよいよ大詰めを迎え、今年10月から試験湛水を実施する予定です。

「試験湛水」とは、水をダムへ試験的に貯めて、ダム本体や放流設備、貯水池周辺などに問題がないかを確認することで、長沼ダムでは、貯水位を平常時よりも約4メートル（洪水時最高水位※）まで上昇させた後に元の水位まで低下させます。

※ 洪水時最高水位 …… 洪水時に一時的にダムに貯めることができる最高の水位。

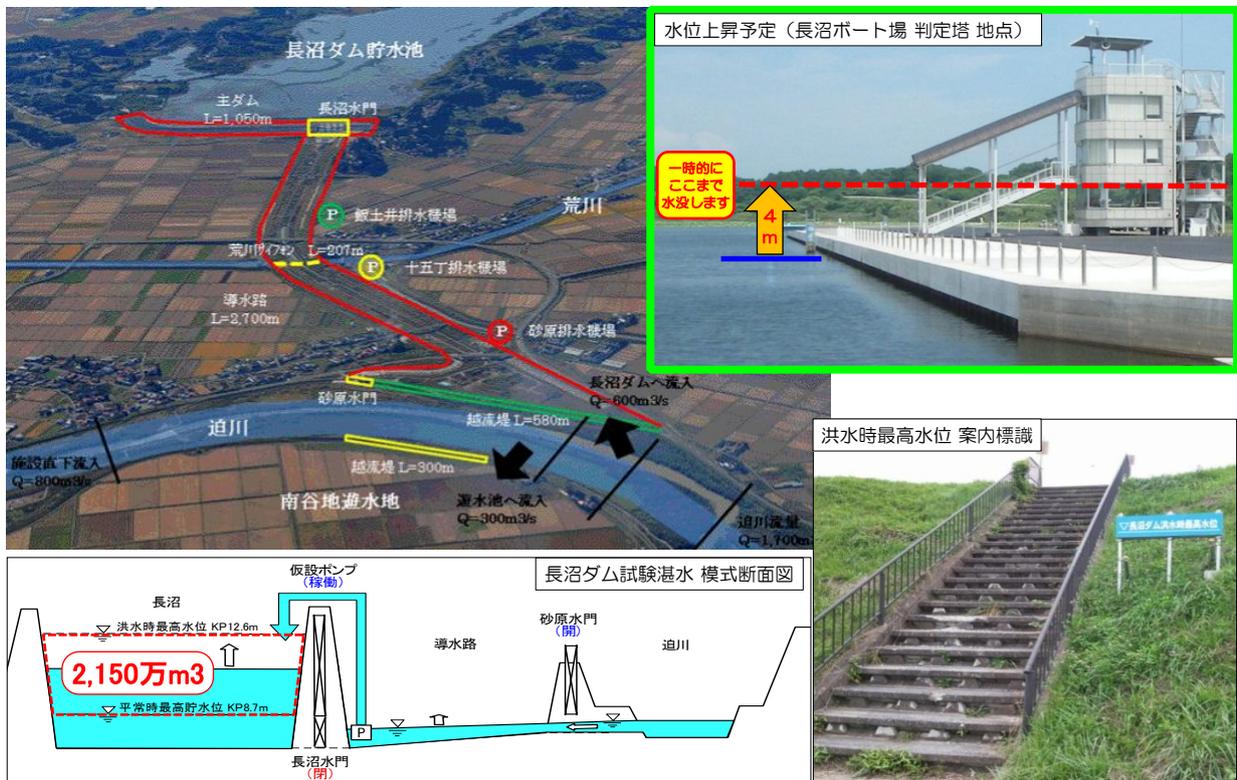
一般的なダムの試験湛水では、ダム上流河川からの自然流入水によってダム貯水位を上昇させますが、長沼ダムではその特殊性から、仮設の大型水中ポンプ（出力37kW・重量約500kg）×18台を使用して、迫川の余剰水を長沼へとくみ上げて実施します。

試験湛水の完了時期は迫川の水量によって変わってきますが（来年1月末～3月末の見込み）、無事に試験湛水が完了すると、長沼ダムの運用が開始されます。

《試験湛水概要》

【実施期間】 今年10月 から 来年1月末～3月末 まで（予定）

【湛水容量】 2,150万m³ （東京ドーム×17杯分、小学校プール×72,000杯分）



～もっと詳しく長沼ダムを知ろう！！～

長沼ダムは…

1.アースダムとしては全国最大規模！

※堤頂長：第3位，湛水面積：第3位，総貯水容量：第2位

2.レクリエーション目的を持つダムとしては東日本唯一！

※他に兵庫県の石井ダム・武庫川ダムがあります。

※国際競技大会が可能な国内有数のボートコースとして利用される予定です。

順位表（出典：日本ダム協会）

順位	堤頂長(m)	湛水面積(ha)	総貯水容量(千m ³)
1	大谷内 1780	雨竜土堰堤 2378	雨竜土堰堤 244653
2	山倉 1460	吉迫 1255	長沼 31800
3	長沼 1050	長沼 630	羽鳥 27321
4	狭山池 997	森樫溜池 450	山口(元) 20649
5	中里 985	羽鳥 201	山口(再) 20649

シリーズ② ～新任職員紹介～ <第1回>

最後に今年度から新たに県職員となり、当事務所に配属された5人の新任職員の紹介です！第1回目となる本号では、**道路管理班の小野山技師**、**総務班の高橋主事**の両名に、県職員としての抱負を語っていただきました。

新人ということもあり、日々の業務において、まだまだ至らない点多々ございますが、今後とも皆様の温かいご指導ご鞭撻の程、いただければ幸いです。

私が宮城県職になって早3ヶ月、**山形出身**の私には何もかもが初めてで苦労したことがたくさんありました。電話対応では、地名・道路がわからず怒られることがたびたびありました。公務での運転はまだできないので、休日に車で登米を**探検**し、早く登米管内を守れるよう頑張ります！

そして、これから先大切にしていきたいことは、**笑顔・元気です☆**復興に携わる上で県職員が**暗い顔で仕事**をしていては、**だめではないか！**と思います。だから私は、これからも元気に明るく仕事に取り組んでいきたいと思います。(^^)/



(小野山技師：道路管理班)

(高橋主事：総務班)



DOUMO! こんにちは！突然ですが、私は宮城県がとても好きです。特に食べ物がおいしいところや、個性豊かな方言があるところが好きです。特に好きな食べ物は『**おごご**』、特に好きな方言は『**らずもねえ**』です！もし、宮城県を好きな人達を北から南に並べたら、私は**唐桑半島にたたくむ事**になるでしょう。

そんな宮城県の**復興の一助**となれるよう、日々の業務に励みたいと思っておりますので、よろしくお願いたします！(トヤツ)

今回は道路建設班の佐々木技師、河川砂防班の齋藤技師の紹介です。お楽しみに！

編集後記

平成24年8月に「東部土木登米地域だより1号」を発刊して以来、4回目の発刊となりました本号では、事務所の事業紹介を中心に掲載しました。また本号から新たに2本のシリーズ（湖沼めぐりと土木遺産、新任職員紹介）が始まりました。今後とも皆様に楽しんでいただけるよう、取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。



宮城県東部土木事務所登米地域事務所

〒987-0511

登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

TEL：0220-22-7533

FAX：0220-22-7534

事務所ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/et-tmdbk/>

事務所代表メールアドレス

et-tmdbk@pref.miyagi.jp